

Introduction

Co-Minkan って なに？

DIYワークショップの開催について館長と打ち合わせ

CAFE
見晴らしの場所

ネイルサロン型
Co-Minkan構想中



小学生たちがカフェのスタンプカードを作るお手伝い

こうみんかん
**Co-Minkanは、
現代版の私設公民館で、
毎日楽しく過ごす人を
増やすための
「まちの茶の間」です。**



カフェオーナーの能塚館長

寺型
Co-Minkan
構想中

看板屋型
Co-Minkan
構想中



こんなCo-Minkanがあったらいいな意見交換ワークショップ(ほどがや市民活動センターアワーズ)

横浜市にオープンしたCo-Minkan第1号。カフェを活用して、近くにある小学校の生徒やその父母の集う場をつくった。(保土ヶ谷区峰岡町 カフェ見晴らしのいい場所)

子ども店長型Co-Minkan

Co-Minkanは、誰でも自由に、目的があってもなくても来られる場所です。来たら、そこにいる人と話したりお茶を飲んだりして単に楽しい時間を過ごしてもいいし、もし疑問や課題に思っていることがあるなら、仲間を得るものが良い方へ向かうように活動していくのもいいでしょう。

かつて地域の人たちは、そんなふうに公民館を使っていました。たとえば、カフェや喫茶店が今ほどなかった時代のお茶飲み処は公民館でしたし、そこでおかずの交換をしたりするのは日常の楽しみでした。田植えや稲刈りの後の慰労会は公民館に集まってワイワイしましたし、結婚式だって開かれました。

一方、今年の祭りはどうするか？ 家族の健康を保つレシピとは？ おばあちゃんの物忘れをどうしたらいいか？ 子供の発育はこれで大丈夫だろうか？ など、その場にいる人に相談したりされたりしながら、個人やまちの困りごとや不安を解決したり、そのための活動の中心になるのも公民館でした。こうした楽しみや解決の場＝公民館があるので、嫌なことがあっても「ま、いいや」と思えたり、ひとり暮らしでも何となく安心でいられたりしたのです。

今も誰かに相談したいことや聞いてほしいこと、何となく人と一緒にいたい時などが私たちの生活の中にはたくさんあります。そんな時、家族ではないけれど親身になって相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたり、興味深い話をしてくれたりする人や場所があったらいいと思いませんか。

Co-Minkanが目指しているのは、そういう思いに応える「現代の公民館」であり、人と情報が集まる「まちの茶の間」です。

まずは1回!

[気楽にやってみるのが大切です]



Co-Minkanを初めて開く時、
おそらく、ああしようか、こうしようか、
こうでなくちゃ、あれはダメかも、といろいろ考えを巡らすことでしょう。
でもそんなに身構えないで、気軽にやってみてください。
集まった人たちに、「初めての開催なので、いろいろ分からないことがあります。
一緒に考えたりアドバイスをくださいね」と最初に声をかけておけば、もう大丈夫。
大切なのは「完璧なおもてなし」をすることではなくて、
「楽しかった、またしたい」と自分も参加者も思えること。
次回の開催につながるワクワクする第1回にしたいですね。

POINT

- 1 あれもこれもと頑張りすぎないこと。主催者が疲れてしまったりは楽しくありません。
- 2 主催者は「もてなす人」、参加者は「もてなされる人」という関係にせず、みんなで一緒に楽しみましょう。
- 3 費用や会費の件は最初にはっきりと決めて、参加者に知らせておきましょう。

人の集め方

最初のCo-Minkanは「不思議100%」の存在です。「誰が来るの?」「なにをするの?」。みんなちょっと不安な感じ。ですから、まずは自分のことをよく知ってくれている友人や知り合いに声をかけて集まってもらいましょう。そしてその時に、「もしできたら、私が知らないあなたのお友達も一緒に連れて来て」とお願いしてみましょう。そうして来た人が「楽しかった」「居心地がよかった」と感じてくれれば、自然と次回も来てくれますし、参加者の輪は広がっていくはず。です。

用意するもの

食べ物 & 飲み物

たとえ知らない人同士でも、飲食と一緒にすると、気持ちがほぐれますし、そこから自然と話が弾むものです。ですから、簡単なもので良いので食べ物と飲み物は必ず用意したほうが良いでしょう。自分ひとりで用意するのが負担なら、持ち寄りスタイルでも。

Co-Minkanの主催者がいったいどういう人なのか? 参加者には気になるところです。友人や知人以外の方が参加している場合には、自分を端的に象徴する「何か」、たとえば写真、趣味のもの、好きな本などを用意しておいて、それを使って自己紹介をすると、一気に理解が深まります。

自分を語るもの

開催のキッカケ

自分の誕生日、還暦祝い、快気祝い、定年退職祝い、転職報告会、趣味歴10周年を祝う会、新居見学会(引っ越し、新築、購入など)、新酒の試飲会、今年のボージョレ・ヌーボーを味わう会、お祭りを一緒に楽しむ会、うまいもの取り寄せ会、もうすぐ育休明けの人を励ます会、いい夫婦の会(11月22日)など

家の近くにちょっと広めの公園があったら、
そこは絶好のCo-Minkan会場です。

簡易テントや折りたたみイスを使えば、
公園がCo-Minkanに早変わり！

公園でやってみる！



Outdoor Co-Minkan

[公園でやってみましょう]

公園はいちばん手軽な Co-Minkan

Co-Minkanをやりたくても場所がない。誰をどのように誘っていいかわからない。そんな時にぴったりなのが、くつろいだ時間を過ごしたい人たちが自然に集まって来る公園です。

雨さえ降らなければ、お茶を入れたポットと紙コップを用意して、今日からできる公園Co-Minkanにレッツ・トライ！

トントンちくちく (kei & meg)

イス、テント、ガーランドなどCo-Minkanをかわいく手軽につくるための道具は、暮らしをいざどる創作家トントンちくちくが、手づくりしている。大量生産でもなく、一点ものでもない、家内手工業的なものづくりは、思いやりとアイデアにあふれている。



手作りすれば
¥0~

フラワーガーランド

花、葉、布などを連続させた装飾。紐を使って簡単に作ることができ、壁や天井をにぎやかにできる。

¥3,680~



やってみます看板

Co-Minkanがオープンしていることを示す看板型の黒板。看板には、主催者、何をしているかわかるように書いて使う。

金額要相談



サーカスベンチ

Co-Minkanをかわいく手軽につくるための道具として、ベンチは欠かせない。立てばステージにも。組み立て式の簡易ベンチなので持ち運べる。

¥4,500~



コンパクトテーブル

Co-Minkanにはテーブルも欠かせない。天板と脚に分解できるものを使うと軽くて持ち運びに便利。

合計 ¥8,180~